

ブリーフカウンセリング入門

担当者	宇田 光（南山大学総合政策学部教授） 中川貴嗣（臨床心理士）
概要	<p>不登校やいじめなど、学校で子どもたちは様々な問題に直面します。そんななかで、スクールカウンセリングが注目されています。しかし、あわただしい学校では、じっくりと悩みを聴いていく伝統的なカウンセリングを用いることは困難です。より短期的な対処を前提として取り組む方法が、学校現場では切望されていると言えるでしょう。</p> <p>ブリーフカウンセリングとは、短期的な解決を前提とするカウンセリングです。従来のセラピーやカウンセリングと比べて、学校現場の制約のもとで、より現実的な対処をしようとする方法なのです。</p> <p>中でも、現在注目されている解決志向アプローチは、問題そのものを扱いません。問題の例外やうまくいっている部分に焦点を当てて、解決そのものを直接創り上げます。問題を直接的には扱わないために、①より安全な対処が可能（悪化する危険性が少ない）であること、②負担感が少なく済むこと③比較的単純なため習得しやすい方法であること、などの特徴を備えています。</p> <p>この講座では、ブリーフカウンセリング（特に解決志向アプローチ）の基本的な考え方や技法を学びます。小グループでの実践的な演習を中心とする2日間の「短期」集中型講座です。学校の教職員の方々、カウンセリングに関心をお持ちの方々などにお勧めします。</p> <p>主な内容・本人自身が具体的な目標をたてる ・スケーリングクエスションを用いて未来の姿を明確化する ・問題の例外を探る ・不登校への対応など</p>
日程	2012年7月28日（土）、29日（日）10:00～17:00 土日集中
定員	24名
会場	南山大学 D棟
受講料	受講料 14,400円〈税込〉
メルマガ講座報告	<p>本講座もほぼ毎年の開催を続けてきて、7回目となりました。ブリーフカウンセリングの中でも、「解決焦点化アプローチ」（解決志向アプローチ、SFA）を中心に紹介しています。SFAは、人の持つ「リソース」や問題の「例外」、そして解決した未来に焦点を絞った比較的新しいやり方です。</p> <p>今年も7月の末、土日の2日間にわたって、開催しました。この講座は、カウンセリングの実践的演習が中心です。実際に様々な質問技法を試してみる中で、解決焦点化の考え方をつかんで頂けたのではないのでしょうか。</p> <p>事後のアンケートでは、「一つ、幅が広がった気がする」、「いろいろなお立場の方々と知り合うことがあり、刺激にもなった」などのご感想がありました。その一方、「～の領域には、SFAは向かないのではないか」というご意見もありました。また、「質問の仕方が最後までよくわからなかった」というご意見も頂戴しました。</p> <p>なお、講師のお一人で航空自衛隊小牧基地で勤務されている中川さんには今回、東日本大震災での復興支援の実際についても、特別にご紹介頂きました。</p> <p>酷暑の中、ご参加いただいた皆様に、あらためて感謝申し上げます。</p>